

doctor
interview



乳腺外科
網岡 愛 先生

日本医科大学出身。医学博士。日本外科学会 外科専門医、日本乳癌学会 乳腺専門医、検診マンモグラフィ読影認定医、乳がん検診超音波検査判定医師、乳房再建用エキスパンダー/インプラント責任医師

乳がんを患う女性の割合と発症リスクについて

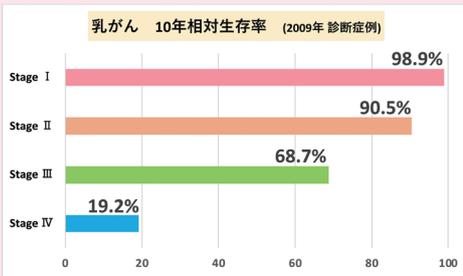
乳がんの罹患率は30代後半から増加し始め、40代後半まで上昇し、そのまま罹患率は下がらずに60代後半がピークになります(2018年)。また、乳がんの発症リスクが高いとされているのは、初潮が早く閉経が遅い、出産や授乳歴がない/少ない、閉経した時に肥満である、喫煙(受動喫煙も含む)や飲酒の習慣がある、乳がん又は卵巣がんを発症された血縁のご家族がいる方などです。

自宅ですぐにできる乳がんセルフチェック。
乳がん検診と併用することをお勧めします。

10月は乳がん月間！乳がんチェックについて教えて

乳がんの生存率について 早期発見がとて重要

乳がんは、早期発見できれば生存率の高いがんです。乳がんの10年生存率は、グラフのようにステージ2までは90%以上ですが、ステージ3では70%を切り、ステージ4では20%以下となります。ステージ4以外の治療は「手術」が中心となり、放射線治療やホルモン療法・抗がん剤が必要かどうかは患者さんごとに異なります。進行すればするほど治療の負担は大きくなり、生存率も低下しますので、早期発見・早期治療がとても重要です。



(乳がんの10年生存率 (2020年全がん協加盟がん専門診療施設の診断治療症例より))

定期的な検診に加え 乳房のセルフチェックも大切

見て

乳房やわきに、くぼみ・ふくらみ・変色・ひきつれはない？

乳頭をつまんで分泌物はない？



触って

4本の指で「の」の字を書くようにさわり、しこりはない？

石鹸やクリームなどを使うのもおすすめ

乳房とわきの下を！



エコーやマンモグラフィによる1〜2年ごとの検診を受けることが推奨されています。それに加え、月に1回程度の乳房のセルフチェックも行ってください。ご高齢などが理由でご自分ではチェックが困難な方は、お着替え時や入浴時にご家族や介護施設の職員さんにチェックして頂くと良いでしょう。まずはセルフチェックを行って、ご不安や迷いがあれば、お近くの乳腺外科・乳腺科を受診してください。

まもりたい、あなたの明日と地域の医療。



国家公務員共済組合連合会

呉共済病院

☎0823-22-2111 (代表)

📍 呉市西中央 2-3-28

🕒 土曜、日曜、祝日、年末年始(12月29日~1月3日) 📞 有



病院長 寺坂 薫 脳神経外科専門医

理念 高度・良質の医療、最善の奉仕、地域医療の支援、研鑽と協調

診療科 内科、外科、呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、消化器外科、内視鏡外科、肝臓内科、循環器内科、心臓血管外科、脳神経内科、脳神経外科、整形外科、代謝内科、腎臓内科、泌尿器科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、気管食道外科、**乳腺外科**、形成外科、婦人科、皮膚科、眼科、アレルギー科、救急診療科、総合診療科、血液内科、放射線科、麻酔科、ペインクリニック内科、歯科、歯科口腔外科、病理診断科、リハビリテーション科、健康医学センター

公式LINE



YouTube

